

令和5年度公益財団法人静岡県文化財団事業報告

I 総括

令和5年度は、5月8日から新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」に移行し、政府として一律の対策を求められることがなくなったことから、予定していた各種事業をほぼ従来どおりに全て開催することができた。しかし、コロナ禍において、デジタル化の急速な進展や、ニーズの多様化や消費行動の変化が生じ、加えて、ロシアのウクライナ侵攻を端緒とした世界的なエネルギー価格の高騰は依然として続いている。さらに、物価や人件費等の高騰も進み、当財団にとって厳しい状況が続いている。

当財団としては、新しい状況に対応するため、中期構想の改定を行ったほか、催事促進グループの設置による利用促進に着手するとともに、企画事業を含む支出の見直しにより財団の財務状況の改善を目指した。その結果、光熱水費に関する県の補填や施設使用料収入の増加により、全体の収支は3年ぶりの黒字となった。

また、県の東アジア文化都市事業については、地域への助成について受託事務として実施したほか、財団単独事業1件、共催事業2件、認証事業23件を実施するとともに、広報活動を積極的に行った。

1 はじめての劇場しずおか～文化芸術の体験～

- ・社会状況が大きく変化する中で、文化芸術が担う役割は、豊かな人間性、創造力や感性を育むという本質的価値にとどまらず、人間相互の理解促進、新たな需要や付加価値を生み出すという社会的・経済的な価値を創出することにも及んでいる。グランシップ企画事業、県受託事業、財団独自事業に取り組み、予定した全ての事業を開催できたことで、次世代を担う子どもを中心に地域、世代、障がいの有無に関わりなく、幅広く県民が文化芸術に触れる場づくりの実現に寄与した。

2 アーツカウンスルしずおか～創造的な活動への支援～

- ・すべての県民をつくり手として、誰もが有する創造力が活かされる道をひらき、まちづくりや観光、福祉、教育など社会の様々な分野においてイノベーションが生まれる創造的な地域づくりに貢献するため、支援事業等を実施した。

これらにより、県下35全市町での実施が目標である「文化芸術による地域振興プログラム」について累計で22市町まで拡大し、令和6年度分の応募件数は前年に比べ28件増の108件となるなど、県民の創造的活動が盛んになってきている。

3 東アジア文化都市の推進

- ・「東アジア文化都市 2023 静岡県」の実行委員会の委員として参加するとともに、地域の民間団体への事業費助成、コア事業や専門協働プログラム事業等の事業の実施、広報活動やアンケート調査、イベント会場としてのグランシップの提供等により、県のパートナーとして同事業の一翼を担った。

4 集いをささえるグランシップ～施設の利用促進と維持管理～

「集いをささえるグランシップ」として、催事促進グループの設置により営業体制を強化し、映画等の撮影へのきめ細やかな対応や広場におけるマルシェの開催など「新たな利用ニーズへの対応と賑わいの創出」を目指し、施設の利用促進を図った。

- ・全館光回線の運用開始など、アフターコロナ時代のニーズに沿ったサービスの提供により「デジタル技術等を活用した顧客サービスの向上」を図った。
- ・グランシップの安全な施設環境づくりと効率的・効果的な維持管理を進めるため、デジタル対応の監視カメラへの更新工事を実施した。

5 文化財団法人運営

- ・補助金等を積極的に活用することで安定的な収入を確保するとともに、実施する企画事業の見直しや館内の省エネ対策の徹底により経費の削減を行った。また、エネルギー価格の高騰については県と協議して光熱水費の補填を受けたこともあり、財団の経営状況が改善され、今年度の収支は黒字となった。
- ・各職員のライフスタイルに合わせた柔軟性の高い勤務制度を整えるため、各課のグループ制を導入して組織のフラット化を図るとともに、在宅勤務制度やキャリアパス制度の運用を開始した。
- ・人材育成の取組みとして、各種外部研修の活用のほか、令和4年度に試行した業績連動型の人事評価制度の正式運用を開始し、職員の意欲及び資質の向上を促進した。

II 事業概要

1 文化芸術の体験

- ・子どものうちから県民が幅広く文化芸術に触れる場づくり「はじめての劇場しずおか」を全域で展開することを目指し、グランシップ企画事業を核として、県受託事業や財団独自事業にも積極的に取り組んだ。年間通じて県内 18 の小中学校等に赴き学校プログラム（アウトリーチ）を行ったほか、「グランシップ世界のこども劇場」や「冬のおくりもの 2023」等、親子で楽しめる公演から「東京グランド・ソロイスト」や「グランシップ静岡能」等、本格的な音楽・伝統芸能公演まで、豊富なラインナップであらゆる世代が文化芸術に触れる機会を創出した。
- ・また、令和5年度は、「東アジア文化都市 2023」の開催に伴い、グランシップ企画事業で「東アジア文化交流フェア」をはじめとした 23 事業で認証を受けた。更に「東アジア文化都市 2023 静岡県コア事業（グランシップにおける国際交流イベント）」を実施した。

(1) 多彩な文化芸術分野での鑑賞・参加など様々な形での体験

「子ども・子育て世代への支援」、「音楽文化等の普及・振興」、「伝統芸能の継承」、「文芸（ことば）・美術等の振興」の4分野、「上質で多彩な鑑賞」、「関心・理解・親しみを深める教育普及」、「誰もが主人公となる県民参加」の3事業形態により構成した 51 事業、人材育成事業 2 事業、東アジア文化都市 2023 静岡県コア事業 2 事業、合計 55 事業を実施した。

感染症等による中止はなく、全ての事業を実施した。

【実施事業の内訳】 目標 80,250人

事業の種別	事業本数	入場・参加者数
グランシップ企画事業（4分野×3事業形態による構成）	51 事業	77,766 人
（人材育成事業）	2 事業	504 人
東アジア文化都市 2023 静岡県コア事業	2 事業	1,639 人
合計	55 事業	79,909 人

● 分野別の内訳

分野	事業本数	入場・参加者数
子ども・子育て世代への支援	24 事業	51,334 人
音楽文化等の普及・振興	15 事業	9,697 人
伝統芸能の継承	6 事業	3,222 人
文芸（ことば）・美術等の振興	6 事業	13,513 人

● 事業形態別の内訳

事業形態	事業本数	入場・参加者数
上質で多彩な鑑賞	22 事業	14,716 人
関心・理解・親しみを深める教育普及	19 事業	5,796 人
誰もが主人公となる県民参加	10 事業	57,254 人

(2) 具体的な取組

ア 子どものための文化芸術鑑賞・体験機会の確保

① グランシップ子どもアート体験！学校プログラム（アウトリーチ事業）

次世代を担う子どもたちが身近な場所である学校において本物の文化芸術に触れ、豊かな感性や創造性、コミュニケーション能力を育むことができるよう、県内各地の教育機関と連携したアウトリーチ事業を実施した。

事前に担当職員が実施校へ赴き、丁寧な聞き取りを行うことで、児童生徒の年齢や地域の特性、学校の希望等を考慮した、グランシップオリジナルプログラムを提供した。

② 国立劇場歌舞伎鑑賞教室・中高生のためのオーケストラ

劇場ならではの本格的な芸術体験が、多感な時期を過ごす中学生・高校生にとって自分自身と向き合う糧となることを目指し、ユネスコ無形文化遺産で、日本が世界に誇る伝統芸能のひとつである「歌舞伎」を分かりやすい解説付きで上演する「国立劇場歌舞伎鑑賞教室」、国内一流のオーケストラを招き、交響曲等のクラシックの大曲をまるごと一曲取り上げ、聴きごたえのあるプログラムで送る「中高生のためのオーケストラ」を開催した。

コロナ禍を経て学校の課外活動の実施が戻りつつあり、令和5年度の参加校が令和6年度に別ジャンルで応募するなど、学校のニーズに合った事業の実施で事業展開の好循環にも繋がった。

事業	参加校数	参加人数	交通費支援
国立劇場歌舞伎鑑賞教室	6校	868人	6校 1,637,720円
中高生のためのオーケストラ	10校	1,016人	9校 2,683,960円

③ 子ども・学生チケット

グランシップ企画事業（出前公演を含む）の子ども・学生チケット（小学生から28歳以下の学生）価格を原則1,000円・座席は親子で並んで鑑賞できるようにするなど、自由に選べる仕組みを継続して行った。鑑賞・教育普及等18事業20公演で実施し、1,016人の利用があった。

アレクサンダー・ガジェヴピアノリサイタル、小林愛実ピアノリサイタルの「リサイタルシリーズ」では、一般に加えて子どもセット券も販売。親子で世界を魅了する演奏を楽しむ機会を提供することができた。

④ 中高生支援

(7) 中高生鑑賞プラン

区分	内容
対象者	・県内の中学生、高校生
対象事業	・出前公演を含む指定したグランシップ企画事業
支援	学校の授業や課外活動の一環として学校単位（部活動単位）での鑑賞の場合 ・チケット特別価格800円 ・学校からグランシップ（公演会場）までの交通費の全額支援 (学校から会場までの直線距離2km以上・公共交通機関又は貸切バス等を利用)
実績	・対象事業：20事業22公演 ・利用事業：9事業9公演 ・利用校数：17校 ・参加人数：260人 ・交通費支援：8校420,980円 ※国立劇場歌舞伎鑑賞教室、中高生のためのオーケストラを除く

(イ) 高校生アートラリー

区 分	内 容
目 的	・ 県内公立文化施設、静岡県高等学校文化連盟の協力を得て、県内各地の文化ホールでの高校生の芸術鑑賞機会を促進する。
対 象 者	・ 県内の高校生約 33,000 人
対象公演	・ 県内の文化ホールが登録した 95 公演 ・ 公演紹介パンフレットを 4 月に県内全高校生に配布
仕 組 み	・ 対象公演を鑑賞しポイントを集める(ポイントの有効期限は高校在学中)。 ・ ポイント 3 つで特典対象公演の中から希望する 1 公演のペアチケットが獲得できる。 ・ ポイントは冊子へのスタンプの他、LINE を利用して集める。
実 績	・ 実際のペアチケットの利用は 1 公演のみだったが、県内 14 館の文化ホールと連携、協力して、県内高校生に向けて身近なホールや劇場で行われる公演の周知を行った。

⑤ 子どもが文化と出会う機会創出事業（県委託事業）

財団が文化支援事業やグランシップ企画事業で培ってきたノウハウを活かして、県委託事業である「子どもが文化と出会う機会創出事業」の実施事務局を昨年度に引き続き担った。内容：県内プロオーケストラによる学校訪問コンサート（地域訪問プログラム）と未就学児を対象としたコンサート

種 別	開催回数	鑑賞者数	期間等
地域訪問プログラム	24 校 18 公演	5,612 人	令和 5 年 5 月 ～
未就学児対象コンサート	3 公演	1,762 人	令和 6 年 1 月

イ 文化芸術公演の積極的な取組

次世代のグランシップファンの獲得、県民ニーズを意識した鑑賞公演による高い入場率の確保と、未来に継承すべき伝統芸能公演の実施など、経営状況を踏まえたバランスを考慮して事業を実施した。先鋭的な取り組みや、施設を活かした公演等、グランシップだからできる事業を実施することが県立の劇場、静岡県の文化施設の中核として果たすべき役割と考え、多彩な文化芸術の鑑賞機会を提供した。

① 高い入場率の確保

「グランシップクリスマスライブ 平原綾香」・「大江千里 ひなまつりジャズ」・「グランシップ寄席柳家喬太郎（2 公演）」は満席。「小林愛実ピアノリサイタル」・「静岡ガス PRESENTS グランシップ×静響 ニューイヤーコンサート」は満席に近い入場者があるなど、狙いとした公演では高い入場率となったが、一部の事業で予定の来場者数を下回ったことや、中高生のためのオーケストラ（昨年度までは中学生対象で実施）を今年度より有料化（1 人 800 円）した影響等から、全体での来場者は若干数であるが計画に満たなかった。より多くの県民が文化芸術に触れる機会を得られるよう、引き続き高い入場率の確保を目指していく。

② 新たな客層への訴求

次世代のグランシップファン獲得を目指して、これまでに実施していないジャンルの公演にも取り組んだ。「H ZETT M×神奈川フィルハーモニー管弦楽団」・「平間至写真展」は、アンケート集計では10代～40代以下が全体の60%以上を占め、前者の公演では、アンケート集計によると県外からの来場者が半数を超えた。入場率が目標に達しない公演もあったが、県民ニーズを的確に捉え、広報にも工夫を凝らすなどの対策を講じ、今後も「グランシップならでは」の事業を実施していく。

③ 期待に応える鑑賞機会の提供

日本屈指のオーケストラによる「東京都交響楽団名曲コンサート」や「人形浄瑠璃文楽」など、長年の取組みが定着しており県民の期待に応える公演を実施し、いずれも高い満足度を得た。またグランシップ開館当初より実施している「しずおか連詩の会」は、連詩の提唱者である詩人・故大岡信氏の出身地である三島市で、出前公演として開催した。アンケート集計では2回目以上の来場者が半数・初めての来場者が半数で、満足度は100%だった。リピーターにも初めての来場者にも納得のいく内容の事業が実施できた。

ウ 地域における文化芸術振興の推進

① 県民参加型事業

地域の文化団体がグランシップをステージとして広く県民に発表できる場を提供するため、「グランシップ提携公演」として「音楽青葉会・静岡児童合唱団 創立80周年記念演奏会」を開催した。また、県内で活躍するビッグバンドが熱いステージを繰り広げ、生のジャズサウンドを体感できる「グランシップビッグ・バンド・ジャズ・フェスティバル」や、多くの鉄道ファンがグランシップに足を運ぶ国内最大級の鉄道イベントである「グランシップトレインフェスタ」、親子で映画や音楽を楽しめる「グランシップ 冬のおくりもの2023」などの県民参加型事業を実施した。

「グランシップ冬のおくりもの2023」は、静岡フィルハーモニー管弦楽団によるクリスマスコンサートと、キノ・イグルーによる映画会を12月17日に開催した。静岡大学准教授川原崎 知洋氏の企画協力による静岡の伝統工芸品である駿河竹千筋細工のクリスマスオーナメントが施された、グランシップにしかないクリスマスツリーのもと、親子連れなど2,000人を超える来場者でにぎわった。

② 地域文化活動の顕彰

令和4年度に取り組んだ見直しにより、令和3年度まで35年に渡り実施してきた「ふじのくに地域文化活動賞」に変わる新しい顕彰事業として「ふじのくに地域づくり創造賞」を制定。部門別に団体を顕彰した。

【令和5年度受賞団体】

団体・法人部門	NPO 法人こころのまま
企業部門	有限会社春華堂

③ グランシップ友の会事業

・個人会員

企画事業への来場者確保のため、会員 16,000 人余への催事情報の提供やチケット販売などを行った。また、会員向けに郵送による催事情報提供の必要の有無を調査し、紙媒体での情報提供を WEB に転換し(5,500 通削減)し、環境への配慮、経費節減に繋げた。

・法人会員

新規会員の増加、既存会員との関係強化に向けた、法人会員特典の見直しに着手した。

④ グランシップサポーター事業

グランシップの円滑な事業運営を図るため、文化振興に関心があり、文化活動に積極的な県民の自主的な参加・参画を得た。サポーター事業は参加者が年々減少しているという課題がある。今後は事業継続に向けて多くの方が参加できるよう制度の見直しを図っていく。

(令和6年4月1日見込、兼務含む)

業務区分	内 容	登録者数
広 報	ダイレクトメール発送、広報勉強会、来館者見学案内等	43
イベント	公演実施日の受付、もぎり、資料配布、会場案内、避難誘導等	41
撮 影	イベント・公演時の記録撮影、記録写真の整理等	20
託 児	公演時の託児サービス等	4
計		108

エ 人材の育成

誰でも文化芸術を体験しやすくなる環境づくりを進めるため、地域で文化芸術活動を行うアーティストを活用した登録アーティスト事業、県内の公立文化施設職員等を対象にした連携支援研修事業を行った。第1期登録アーティストによるコンサートは、島田市で開催し、地域で活動するアーティストを県民へ周知するとともに、県内文化施設との協働を実現した。

① グランシップ登録アーティスト事業

対象者	実施期間	内 容
第1期 令和3年度採用 登録アーティスト 4組11人	4月～2月	・プログラム研修の実施 ・2年目の総括コンサート「あなたと出会うコンサート」の実施 日時：令和6年2月23日(日) 会場：島田市民総合施設プラザおおるり 来場者：341人
第2期 令和5年度採用登録アーティスト	8月～3月	・オーディションの実施により応募11組の中から登録アーティスト3組9人を選考 ・プログラム研修の実施

② 公立ホール連携支援研修事業

対象者	実施期間	内 容
県内公立文化施設職員等 研修生：5人 聴講生：19人 延べ人数：129人	6月～11月・2月 全9回	具体的な制作手法や関心度の高い内容について学ぶ、実践的なカリキュラム ・テーマ「地域アーティストの活用・協働」

2 アーツカウンシルしずおか～創造的な活動への支援～

(1) 創造的な活動への支援事業

創造的な地域づくりに向けて、社会の様々な分野の担い手による地域資源の活用や、社会課題に対応した創造的な取組であるアートプロジェクトを支援する助成制度を運用した。特に、文化芸術と社会をつなぐアートマネジメントの専門的人材であるプログラム・ディレクター、プログラム・コーディネーター等の専門職員が、助成事業に対する助言等を行い、プロジェクトを支援した。併せて他分野との連携等を推進した。

ア 文化芸術による地域振興プログラム

静岡県内に拠点を置くアートプロジェクトの支援では、団体の目標に応じて先駆的事業を行うプログラムである「地域クリエイティブ支援」、先駆的事業の実施に向けて試行的に取り組む「地域はじまり支援」の2つのカテゴリを活用し、計26団体を支援した。

【地域クリエイティブ支援（助成金額上限5,000千円）：19件】

実施団体	所在地	プログラム名称
松崎まちかど花飾り実行委員会	松崎町	松崎まちかど花飾り
GAKKO PROJECT	伊東市	GAKKO PROJECT～自然と文化の伊豆半島学びなおしの旅～
PROJECT ATAMI 実行委員会	熱海市	熱海の街と人を繋ぐ 地域コーディネーター育成プロジェクト
一般社団法人 熱海怪獣映画祭	熱海市	第6回熱海怪獣映画祭
熱海未来音楽祭	熱海市	第5回熱海未来音楽祭
NPO 法人 atamista	熱海市	南熱海における身体表現文化の拠点設立に向けた事業
しゃぎりフェスティバル実行委員会	三島市	地域コミュニティ活性化に向けた伝統芸能活用プロジェクト
三島アートプロジェクト実行委員会	三島市	三島アートプロジェクトによる街中にぎわい創出事業
Lab Qrio (ラボキュリオ)	三島市	つくって発見☆こどもアート de サステナブル!
Cliff Edge Project	伊豆市	Cliff Edge Project うぶすなの水文学
NPO 法人こころのまま	沼津市	心のままアートプロジェクト
宗教法人大中寺	沼津市	YOKOD033
室野地農工商組合 mA-FaB	富士市	murono 尋常生学校
吉原中央カルチャーセンター	富士市	HELLO YOSHIWARA～吉原商店街に出会おう!～
竹部 (バンブ)	藤枝市	竹林劇場プロジェクト「タテからヨコに広がる竹林劇場」
藤枝宿代をつなぐ商店街づくり実行委員会	藤枝市	藤枝ノ演劇祭3
特定非営利活動法人加ステイアしまだ	島田市	UNMANNED 無人駅の芸術祭／大井川を軸とした大井川流域アートプラットフォームづくり
浜松ちまた会議	浜松市	浜松中心市街地を福祉(well-being)を軸に編みなおす
SMS	湖西市	浜名湖のその先へ ～Re-blooming～

【地域はじまり支援（助成金額上限300千円）：7件】

実施団体	所在地	プログラム名称
TOWA 紫陽花プロジェクト実行委員会	下田市	TOWA 紫陽花 ～あじさいART プロジェクト～
Working Space Bagatelle	河津町	暮らしの根っこを考えるワークショップ ～普段の生活から河津町の“今”を見つめる～

実施団体	所在地	プログラム名称
きてんきち	沼津市	アートや文化のある日常への“きてん”をつくるプロジェクト
NPO 法人静岡あたらしい学校	静岡市	あるもんで演劇 演劇×オルタナティブスクール×オクシズ
“まち”と“好き”であそぶ人たち	静岡市	見えてるようで見えていない“まち”に気づく・ 見つけるアートプロジェクト
NPO 法人ヒト・マチ・プロジェクト	静岡市	つくって・みつめて・みつけよう ～子どもたちの手 からはじまる～
つくるぞうのへや	浜松市	デモクラティックスクールび〜だとつくる人々

【本助成金の成果】

- ・「UNMANNED 無人駅の芸術祭」のように、全国的に高く評価されるアートプロジェクトが誕生している。
- ・障害者の表現活動を推進するプロジェクトが成果を上げており、「心のままアートプロジェクト」や「浜松ちまた会議」などが高く評価されている。
- ・子ども向けのプログラムも注目されており、プログラム対象が世代を超えたものになってきている。
- ・「Cliff Edge Project」のように、防災ともかかわるプロジェクトがあり、課題の多様化がみられる。
- ・湖西市や浜松市など西部地域、松崎町、伊東市、伊豆市、下田市、河津町などの伊豆地域でのプログラム展開に見られるように、地域の広がりを実現しつつあるが、今後さらに地域拡大に配慮していきたい。
- ・熱海市のプロジェクトのように、分野を超えて市内での相互連携が進んでおり、総合力で街の活性化に寄与している。

【成果報告会】

日 時	令和6年2月12日(月・祝) 午後1時～午後5時
会 場	【BiVi キャン】 静岡産業大学藤枝駅前キャンパス×藤枝市産学官連携推進センター
来 場 者	2023年度実施団体19団体(欠席7団体)、行政関係者、他県アーツカウンシルなど
プログラム	<p><グループワーク・発表及び交流会></p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートプロジェクト実践者同士が取り上げたテーマについて話し合うことで、地域で興すプロジェクトの意義や価値を担い手自身が獲得することに寄与した。 ・県内各地でアートプロジェクトを実施する担い手が、顔を合わせて交流する機会となり、日頃の悩みや想い、アイデア交換などが実現した。
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・実施団体とアーツカウンシルしずおかが潜在的に考える「アートプロジェクトの価値」を顕在化させ、共有することができた。 ・公開制とし、本助成事業への理解や支援を得ると同時に、実施団体の行う活動への理解も得ることができた。また、他県のアーツカウンシルとのつながりも生まれた。

イ マイクロ・アート・ワーケーション (MAW)

クリエイティブ人材(旅人)を迎え入れ地域住民との交流を支援する団体(ホスト)と、ワーケーションを行う旅人を募集し、アーツカウンシルでマッチング等を実施した。

県内各地の13団体がホストとなり、37人の旅人が、令和5年8月1日(火)～11月12日(日)の間、原則6泊7日の日程でホストの活動エリアに滞在した。

ホストには、まちづくりに取り組むNPO法人をはじめ、市町、観光協会、企業などが参加。旅人には、美術家、ダンサー、俳優、音楽家、劇作家、写真家、アートディレクター、キュレーターなど幅広いジャンルの方が参加している。

- ・ホストは、地域案内や住民との交流会等をコーディネート
- ・旅人は、地域の魅力をWEBサイト「note」で発信

【本事業の成果】

MAW終了後もホストと旅人や旅人同士の交流が継続し、地域を巻き込んだ展覧会や写真展、コンサートが開催された。また、令和5年度にホストを務めた4団体から令和6年度の地域振興プログラム助成に応募があるなど県内でアートプロジェクトに着手する団体を増やす効果が出ている。

ウ クリエイティブ人材派遣事業

文化以外の分野とアーティスト等との連携促進と、連携による創造性の触発を目的とし、県内の企業、行政組織等を主とした団体や組織に対してクリエイティブ人材を派遣する制度を運用した。

【実績1】

- ・派遣先：株式会社中島屋ホテルズ
- ・実施期間：令和5年4月～令和6年3月
- ・派遣したクリエイティブ人材：5人
EAT & ART TARO（アーティスト）、UO（プロダクトデザイン事務所）ほか
- ・派遣事業の内容
「最強のローカルホテル」を目指すため、静岡の「食」を題材にした幹部社員向けワークショップ型研修や、「伝統工芸」及び「ホテル周辺マップづくり」に関する意見交換会を実施した。
- ・成果
研修を通じて社員のローカルを考える際の視野が広がった。また、伝統工芸技術を用いたオブジェにより、ホテルのコンセプトを提示する形が見出された。
事業が進む中で、クリエイティブ人材に2つの依頼が発注され、依頼を実現することで、企業とクリエイティブ人材の新たな連携が生じた。

【実績2】

- ・派遣先：ふじのくにに住みかえる推進本部（事務局 県くらし・環境部企画政策課）
- ・実施期間：令和5年12月～令和6年2月
- ・派遣したクリエイティブ人材 1名 柏木陽（演劇家、NPO法人演劇百貨店代表）
- ・派遣事業の内容
クリエイティブ人材が「静岡県まるごと移住フェア」で使用するコミュニケーションツールの内容を検討するミーティングにファシリテーターとして参加した。
- ・成果
当初は考え方が各市町の情報提供に縛られてしまいがちだったが、「会話のきっかけをつくり市町ブースにつなぐ」という目的を明確にしたことで、職員に思考の広がりが生まれた。

ミーティングでまとめられたアイデアを元に3m×4mのシートを作成し、コミュニケーションツールとして移住フェア会場で実際に使用した。移住フェア当日は、出展していた市町や業者から多くの関心が寄せられ、アーティストやアーツカウンシルしずおかの関わりの具体例として周知することができた。また、県内の移住関係団体を対象としたシート貸出の制度をつくったところ、静岡市から利用申し込みがあった。

(2) パイロット事業

アートプロジェクトの担い手となる住民プロデューサーの発掘や、新たなアートプロジェクトの創出につなげるため、アーティストやアートディレクター等のクリエイティブ人材と地域住民や空き家対策関連事業者とを結びつけるパイロット事業等を企画・実施した。

ア クリエイティブ人材空き家等活用モデルプログラム事業

空き家対策関連事業者に対し、クリエイティブ人材の視点をもたらす効果を訴求することを目指して、空き家活用事業を手掛ける地域団体とクリエイティブ人材をマッチングし、アートプロジェクトの試行や活用プランの提案を行うモデルプログラムを実施した。

また、空き家活用に携わる異業種の専門家による「アートによる空き家活用ワーキンググループ」を立ち上げ、課題や効果、その必要性について議論や検証を行った。

結果として、モデルプログラム実施団体から令和6年度の文化芸術による地域振興プログラムへの応募が2件あり、うち1件が内定した。

① モデルプログラムの実施概要

空き家活用事業に関心の高い県内の地域団体と県内外のクリエイティブ人材を公募し、アーツカウンシルがマッチングを実施。空き家と地域団体の状況に合わせ、A「アートプロジェクトの試行を通じた空き家等の活用」と、B「クリエイティブ人材による空き家等の活用を目指した企画提案」を設定し、それぞれ2団体を選定。

● マッチング状況

A アートプロジェクトの試行を通じた空き家等の活用

実施地域	団体名	クリエイティブ人材名
東伊豆町稲取地区	合同会社 so-an	癸生川栄 (eitoeiko) [ディレクター]
周智郡森町森地区	一般社団法人 モリマチリノベーション	遠藤七海 [ダンサー/アーティスト、制作者、料理人]

B クリエイティブ人材による空き家等の活用を目指した企画提案

実施地域	団体名	クリエイティブ人材名
沼津市西浦地区	OKUSURUGABOARD	吉野祥太郎 [彫刻家・アーティスト]
浜松市天竜区龍山町	龍山未来創造 プロジェクト	スズキサチコ [美術家]

② ワーキンググループの概要

空き家活用に携わる専門家として、不動産業、建設業、金融業、アーティストをメンバーに迎え、2023年11月から2024年1月にかけて、計4回開催した。

先進事例やモデルプログラムの進捗状況をもとに、アートによる空き家活用に関する課題、効果、必要性について意見交換を実施した。

イ 超老芸術展

- ・高齢になってからも独学でユニークな表現活動続ける人たちが生み出す表現を「超老芸術」と名付け、紹介している。【紹介した人数：37人（うち令和5年度新規17人）】
- ・東アジア文化都市 2023 静岡専門協働プログラムとして「超老芸術展」を開催。静岡県内や全国の高齢芸術家（22組1,500点以上）の作品を一堂に集め展示したほか、12月からはメタバース上でも公開。
- ・超老芸術展の来場者アンケートでは回答者の半数以上が「何か表現活動してみようと思った」と答えるなど、観覧者の表現活動を触発する機会となった。

区 分	超老芸術展	メタバース超老芸術展
期 間	10月3日（火）～10月8日（日）	12月24日（日）～
会 場	グランシップ6階展示ギャラリー	メタバース上
来場者数	1,767人	800view（3月末時点）

(3) 人材育成・ネットワーク化事業

アートプロジェクトの担い手や、担い手を目指す人材、様々な分野との連携を目指すアーティスト等を対象に、セミナーや研修、相談対応等を行ったほか、企業、大学、市町等との連携を図り、文化芸術分野に留まらない社会の様々な分野とのネットワークづくりを進めた。

ア 文化政策セミナーの開催

① 超老芸術

超老芸術展の開催に合わせ、美術や福祉の領域で活躍する有識者を国内外から招聘し、「超老芸術」をはじめとした市井の高齢者による芸術表現の魅力を紹介しながら、超高齢社会における文化芸術の可能性について意見交換を行った。

主な意見として、「近年、美術分野においても注目を集める高齢者の表現は、生活と不可分であり、それゆえに個々人の人生経験が反映されたものが多い。」「高齢者の表現を取り上げることは、高齢者の存在を地域の中に位置付けることでもある。」「表現することは人生の苦難を乗り越える手段でもある。」などがあった。

日 時	令和5年10月8日（日）13:30～15:00
会 場	グランシップ2階 映像ホール
ゲ ス ト	福住簾（秋田公立美術大学大学院准教授） 上田假奈代（詩人、堺アーツカウンスルプログラムディレクター） エドワード・M・ゴメズ（美術評論家）
参加人数	63人

② コミュニティ政策

「コミュニティ」の再生・創造における「アートプロジェクト」の存在意義について、研究者と実践者を招き、研究成果や実践例を紹介した。

富士商工会議所、富士市吉原商店街、富士市市民活動センターの協力を得て、地域住民や地域のリーダーなどとともにコミュニティづくりにおけるアートプロジェクトの意義について考えることができた。

また、アートプロジェクトが社会教育の分野でも有用であることを示し、セミナーに参加いただいた行政職員（県教育委員会、富士市）の理解を得た。

日 時	令和5年11月7日(火) 18:00~20:00
会 場	妙祥寺(富士市中央町1-9-58)
ゲ ス ト	牧野篤(東京大学大学院教育学研究科教授) 宮城潤(那覇市若狭公民館館長) 野嶋京登(富塚協働センター(浜松市職員)) 久保田瑛(NPO法人クリエイティブサポートレッツ職員)
参加人数	68人

③ 空き家対策

アートによる空き家活用を促進するため、空き家活用に関わる行政や民間業者等を対象に、モデルプログラムの実施状況や、空き家活用の先進事例を紹介した。ビジネス視点では価値のない物件でもアートの視点により新たな価値を見出せる点や、空き家でのアートプロジェクトの実施が地域コミュニティの活性化にも寄与する事例のほか、空き家とアーティストを繋ぐ中間支援組織の必要性についても意見が出た。

日 時	令和5年12月15日(金) 14:00~16:00
会 場	森町文化会館 小ホール(周智郡森町森1485)
ゲ ス ト	<事例紹介> 一般社団法人モリマチリノベーション × 遠藤七海(ダンサー) 合同会社 so-an × 癸生川 栄(eitoeiko)(ディレクター) 龍山未来創造プロジェクト × スズキサチコ(美術家) OKUSURUGABOARD × 吉野祥太郎(アーティスト) <先進事例> 羽原康恵(取手アートプロジェクト包括ディレクター/アートマネージャー) <クロストーク> 羽原康恵 山田 知弘(有限会社日の出企画 代表取締役)
参加人数	61人

イ 講座開催

アートプロジェクトの担い手として活躍していただくために、アートプロジェクトを企画運営していくための連続講座「きかくの場」を開催。

普段は出会わない分野の方々が本講座におけるグループワークを通して、新たなネットワークを形成した。さらには、講座受講者の中から令和6年度地域振興プログラム助成への応募や、自力での企画を実現する人が数名あった。

日 時	令和5年6月25日(日)、9月9日(土)、12月10日(日)
会 場	グランシップ会議室
講 師	小澤慶介 (一社)アート代表理事、インデペンデント・キュレーター
参加人数	各回20人

ウ アーツカウンシルしずおか アソシエイト

様々な分野の識見に基づき文化芸術の活用に関する意見・提言等を行う「アーツカウンシルしずおか アソシエイト」において、空き家活用や移住促進等に専門性を有する山田知弘氏（(有)日の出企画）の助言により、「クリエイティブ人材空き家等活用モデルプログラム」を始動した。同氏には「アートによる空き家活用ワーキンググループ」の座長に就任いただいた。

エ 相談窓口運営

専門職員が随時相談に応じたほか、弁護士や税理士、中小企業診断士が、文化芸術活動をサポートする相談窓口を運営した。文化芸術分野をはじめ幅広い見識をもつ平野雅彦特別相談員による相談会も原則、毎月開催した。

また今年度より、県内各所（浜松市、磐田市、袋井市、長泉町）にて出張相談窓口を開催し、各地域で活動されている文化団体やアーティスト等の相談に対応することで、今後の相談窓口の活用を探る機会とした。【相談件数：154件】

(4) 調査研究、県・市町・文化団体等への助言、政策提言

地域の文化資源、文化活動等の情報を調査・収集するとともに、県や市町等からの依頼に基づく助言や支援、政策提言等を行った。

ア 文化とくらしに関する意識調査

静岡県民が文化や地域社会に関してどのように感じ、どのように文化芸術活動が行われているかを把握し、アーツカウンシルしずおかの助成制度やパイロット事業などの制度設計、事業計画立案、文化政策提言へ活用することを目的としたアンケート調査を実施。

調査内容	文化とくらしに関する意識調査
実施時期	令和6年3月
対 象	静岡県在住者1,000人
設 問	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術活動への参加状況、地域課題の認識と対応状況 ・地域資源に関する意識、アートプロジェクトに関する認識と期待度 ・アーティストの定義づけ（存在価値）について ・住民プロデューサーの定義づけ（存在価値）について

この1年間に文化・芸術活動を行った方は27%にとどまる一方、日常生活における文化・芸術体験や活動が大切と考える人が55%いることが分かった。今後、これらの数値の変化を追い、文化施策の参考とするとともに、3人に1人が「アートプロジェクトという言葉聞いたことがある。」という回答をしており、引き続き周知に努め認知度を高めていく。

イ クリエイティブデータベース

静岡県内を中心に活動するアーティストやクリエイター、文化団体、文化施設等の情報を紹介するウェブサイト上のページを運用した。【登録件数 60件】

3 東アジア文化都市の推進

「東アジア文化都市 2023 静岡県」の実行委員会の委員として参加し、以下の事業を実施することで、アジア域内の相互理解・連帯感の促進及び東アジアの多様な文化の国際発信力の強化に貢献した。

(1) 地域連携プログラムにおける民間事業の助成

- ・県からの受託事務として、国際交流を進展させ、文化によって地域の活性化や観光の振興等に繋がる多彩な事業を実施する民間の団体に対して事業費の助成を行った（77 団体、23,743 千円）。

(2) 各種事業の実施

ア 東アジア文化都市 2023 静岡県の認証事業

グランシップ企画事業の一部について認証を受け、「東アジア文化都市 2023 静岡県」を冠したイベントとして実施することで、一般への周知を広めた。

東アジア文化都市 2023 静岡県のオープニングに関連するイベントである「東アジア文化交流フェア」をはじめとした 23 の事業を認証事業として実施した。

イ 東アジア文化都市 2023 静岡県コア事業

グランシップにおける国際交流イベントとして以下のイベントを開催し、県内若年層の文化交流や、日本の文化の発信と中韓の文化理解を促進した。

事業名	来場者数	概要
日中韓映画祭事業 グランシップ日中韓 映画上映会	1,196 人	・日中韓の相互文化理解促進を目的とした映画祭。 ・JR 草薙駅北口広場でのプレイベント開催による地域との協働も実現。
音楽交流事業 ウィーンの風 ウィーン木管五重奏団	443 人	・ウィーンで活躍する奏者 5 人のアンサンブルと静岡県立清水南高校同中等部管弦楽部・芸術科音楽専攻生徒との共演による公演。

ウ 東アジア文化都市 2023 静岡県専門協働プログラム事業

「超老芸術展」を開催し、静岡県内や全国の高齢芸術家（22 組 1,500 点以上）の作品を一堂に集め展示した。【来場者数：1,767 人】

(3) グランシップにおけるイベントの開催

オープニングイベントである「東アジア文化都市 2023 静岡県 春の式典」のほか、「東アジア文化都市・静岡県忠清南道交流 10 周年記念韓国文化の日 in Shizuoka」等の他団体による認証事業をグランシップにおいて開催した。

(4) その他の事業

- ・グランシップホームページにおいて、各種イベントの情報発信を行った。
- ・「東アジア文化交流フェア」、「グランシップ日中韓映画上映会」の来場者に、東アジア文化都市 2023 静岡県に関するアンケートを実施し、東アジア文化都市の知名度やイベント参加の希望を調査するとともに、同事業の県民への浸透に寄与した。

4 集いを支えるグランシップ～施設の利用促進と維持管理～

新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策としての政府からのイベント自粛等の要請は、令和5年5月に「5類感染症」に移行したことにより緩和された。この流れを受けて、「集いをささえるグランシップ」として、施設の利用や催事開催に必要なサービスの提供を進めた。

施設の利用に際しては、「新たな利用ニーズへの対応と賑わいの創出」、「デジタル技術等を活用した顧客サービスの向上」を2つの柱に、事業を推進した。

「新たな利用ニーズへの対応と賑わいの創出」として、ハイブリッド学会の開催、多様な施設を有する当館の特性を生かした催事の開催を誘致したほか、東静岡地区の賑わい創出に寄与する催事の誘致等を実施した。「デジタル技術等を活用した顧客サービスの向上」では、県と連携して実施した「グランシップ LAN 設備設置工事」の完了により大幅に強化されたネットワーク環境の運用を開始し、新しい生活様式に即した利用形態に対応するサービスの提供の拡充を図った。

また、グランシップ施設の維持管理においては、利用者に対して安全、安心で快適な施設環境を提供するため、効率的かつ効果的な施設の維持管理等を実施した。

ア 入館者数

入館者数…572,763人

※開館(平成11年3月)以来の入館者総数16,285,522人(令和6年3月31日現在)

イ 主要施設の稼働実績

	大ホール	中ホール	交流ホール	会議ホール	展示ギャラリー	ホール系計
稼働実績 (A)	207日	266日	210日	230日	269日	1,182日
利用可能日数 (B)	267日	314日	313日	315日	328日	1,537日
稼働率 (A/B)	77.5%	84.7%	67.1%	73.0%	82.0%	76.9%

※会議室、練習室等を含めた施設全体の稼働率は76.7%。

ウ 主要なコンベンション開催状況

	開催日	催事名
1	4/23(日)、8/27(日)	2023年中部日本ダンス競技静岡県大会
2	5/2(火)	東アジア文化都市2023静岡県 春の式典
3	6/7(水)～6/11(日)	第32回静岡県女流美術協会展
4	6/17(土)～6/18(日)	第70回NHK杯全国高等学校放送コンテスト静岡県大会
5	6/18(日)	第9回静岡県高等学校軽音楽県大会
6	6/29(木)～7/1(土)	第49回日本骨折治療学会学術集会
7	7/15(土)～7/16(日)	2023 ダンススポーツグランプリ in 静岡
8	7/19(水)～7/21(金)	TECH BEAT Shizuoka 2023
9	7/29(土)～7/30(日)	第45回性教育指導セミナー全国大会
10	9/1(金)～9/2(土)	第5回SING Live研究会
11	9/7(木)	令和5年度静岡県すこやか長寿祭スポーツ・文化交流大会総合開会式
12	9/16(土)～9/18(月)	日本歯科衛生学会 第18回学術大会
13	9/21(木)	第12回静岡県高齢者福祉研究大会

	開催日	催事名
14	9/24(日)	第 39 回静岡接骨学会 医療機器展示会
15	9/25(月)～9/29(金)	日本薬物動態学会第 38 回年会 第 23 回シクトロム P450 国際会議
16	10/5(木)	令和 5 年度静岡県産業安全衛生大会
17	10/18(水)	第 24 回商工会女性部全国大会 in しずおか
18	10/19(木)～10/20(金)	第 30 回日環協・環境セミナー全国大会 in 静岡
19	10/27(金)	第 65 回建築士会全国大会 しずおか大会
20	10/28(土)	東アジア文化都市・静岡県忠清南道交流 10 周年記念 韓国文化の日 in Shizuoka
21	10/28(土)～10/29(日)	日本産業看護学会第 12 回学術集会
22	10/31(火)	第 50 回静岡県公立小中学校教頭会研究大会
23	11/2(木)～11/12(日)	令和 5 年度静岡県高等学校総合文化祭 第 71 回静岡県高等学校美術・工芸展
24	11/4(土)	静岡県高等学校文化連盟 「器楽・管弦楽」専門部第 27 回演奏会
25	11/5(日)	ふじのくに芸術祭邦楽演奏会
26	11/8(水)～11/9(木)	第 57 回全国わさび生産者大会静岡大会 第 38 回全国わさび品評会
27	11/11(土)～11/12(日)	日本放射線安全管理学会第 22 回学術大会
28	11/13(月)	第 30 回静岡県図書館大会
29	11/19(日)	ふじのくに芸術祭 2023 合唱コンクール
30	11/21(火)	太平洋島嶼国・日本地方自治体ネットワーク会議
31	11/23(木)	ヒガナンフェスティバル～あつまれ！学びと文化のまちに～
32	11/25(土)	ふじのくに美しく品格のある邑フォーラム
33	11/26(日)	ふじのくに芸術祭 2023 舞台芸術部門 舞踊公演「翔の会」
34	11/25(土)～12/3(日)	ふじのくに芸術祭 2023 美術展
35	12/15(金)～12/17(日)	第 27 回日本統合医療学会学術大会
36	1/3(水)	2024 静岡市二十歳の記念式典
37	1/5(金)～1/6(土)	第 11 回静岡県民ミュージカル「海賊」
38	1/25(木)～1/29(月)	第 34 回静岡県特別支援学校高等部合同作品展
39	1/20(土)	第 57 回静岡県管打楽器アンサンブルコンテスト高等学校の部
40	1/25(木)	第 63 回静岡県保育研究大会
41	1/27(土)	静岡県防衛協会 第 43 回静岡音楽祭
42	2/9(金)～2/10(土)	第 71 回東海四県スポーツ推進委員研究大会
43	2/16(金)	令和 6 年静岡県柑橘生産者大会
44	2/18(日)	ふじのくに芸術祭「2023 授賞式」「2024 総合開会式」
45	2/20(火)	令和 5 年度「体力アップコンテスト しずおか」表彰式
46	2/29(木)	2024 年 3・1 ビキニデー日本原水協全国集会

エ 催事開催支援サービス実績

メニュー	サービスの内容	実績
飲食	弁当、ケータリング、パーティー	受注件数 1,626 件 受注額 90,477,828 円
テクニカル	音響照明、看板、生花、会場設営	
清掃	レイアウト転換、ごみ処理	
警備	雑踏・駐車場警備	

(1) 新たなニーズへの対応と賑わいの創出

- ・アフターコロナの段階に入り、オンラインを併用したハイブリッド学会が数多く開催された。また、対面での開催について条件が緩和されたことから、全館規模の学会・全国大会等が制限なく開催されるようになった。

【主な国際会議・国内学会】 *全館貸切

開催日	催事名
6/29(木)～7/1(土)	第 49 回日本骨折治療学会学術集会
9/25(月)～9/29(金)	日本薬物動態学会第 38 回年会 第 23 回シクトロム P450 国際会議

【主な全国大会】

開催日	催事名	主催	参加人数
10/18(水)	第 24 回商工会女性部全国大会 in しずおか	静岡県商工会連合会	約 3,000 人
10/27(金)	第 65 回建築士会全国大会 しずおか大会	静岡県建築士会	約 3,000 人

- ・昨年に続き、エンターテイメント催事獲得のため、テレビ局に訪問を行った。また、近年ニーズが高まっている映像撮影のロケーションとしてのグランシップ施設の提供を行った。

※実績：映画撮影（本番 5 日間）、MV 撮影（深夜対応あり）

- ・東静岡周辺のにぎわいに寄与するべく、県が実施する「東静岡駅県有地活用実証実験」や地元自治会の開催するマルシェ等の主催者に働きかけた結果、屋外ひろばを活用したイベントを招致できた。

【主なイベント】

開催日	催事名	参加人数
10/28(土)～29(日)	東アジア食彩フェスティバル	約 5,000 人
11/23(木)	ヒガナンフェスティバル	約 3,000 人

(2) デジタル技術等を活用した顧客サービスの向上

- ・コンベンションのバーチャル化など、新しいニーズに対応するため、有料の高速光回線の貸出を推進することで、同時配信やウェビナー等オンラインと会場の参加者を融合する催事を誘致し、開催した。

【主なハイブリッド学会】 *当館光回線利用

開催日	催事名
9/16(土)～9/18(月)	日本歯科衛生学会 第 18 回学術大会
10/28(土)～10/29(日)	日本産業看護学会 第 12 回学術集会

- ・予約システムの更新に合わせて、ウェブからの施設予約機能を拡充した。さらに、利用者が使用承認書等を専用ページからダウンロードできるようになり、発送作業に係る費用が圧縮できた他、キャッシュレスによる支払いが可能となり、利用者の利便性も向上した。

※利用実績：オンライン予約件数 4,330 件、オンライン収納金額 4,428 千円

- ・要望が多かった詳細な備品情報をホームページにアップロードし、誰でも閲覧できるようにすることで、施設利用の利便性が向上した。

(3) 安全・安心・快適な施設管理

- ・県や施設管理、警備、清掃、舞台技術の委託業者と連携して適切な管理・運営を図るとともに、適宜適切に仕様の見直しを継続して進めた。また、県が策定した中期維持保全計画と連携して、計画的な設備更新の実施、故障個所の迅速な修繕に努めた。
- ・電気・ガス使用を最適化し、環境負荷低減とコスト削減を進めた。
- ・持続可能な開発目標（SDGs）への取り組みとして、省エネルギーを推進し環境に与える負荷を低減するため、エネルギー管理員の主導による効率的なエネルギー運用に取り組んだ。

【エネルギー使用実績】

区分	H25 (a)	R5 (b)	R5 (b-a)
電 気	6,018,672 kwh	5,195,530 kwh	▲823,142 kwh
ガ ス	788,763 m ³	682,667 m ³	▲106,096 m ³
エネルギー総量	94,250 GJ	81,768 GJ	▲12,482 GJ

※ H25 は静岡県地球温暖化対策実行計画の開始基準年

(4) 危機管理体制

- ・防災訓練においては、自衛消防隊の役割や訓練内容の見直しを図り、より実践的な訓練を行うことで、危機管理の体制強化を実施した。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策については、国や県等関係機関の情報を積極的に収集し、適宜適正に対応した。

5 文化財団法人運営

(1) 経営基盤の安定

ア 安定的な収入の確保

- ・日本芸術文化振興会、地域創造の補助金等を積極的に活用し、事業実施のための財源を確保した。

イ 経費の節減

- ・グランシップ企画事業等の見直しや館内の省エネの徹底により、経費の削減を行った。
- ・常に財団の財務状況を把握し、適時適切な対応ができる体制を維持するため、毎月1回経営企画会議を開催し、各月の予算執行状況や光熱水費の推移を確認するとともに、月次決算及び上半期終了時の中間決算を実施した。
- ・勤怠管理システムを新たに導入し、総務事務の効率化を図った。
- ・各委託業者との綿密な調整を行い、業務の効率化を図った。

(2) 人材の育成

ア 職員が能力を発揮できる組織風土づくり

- ・各課におけるグループ制の導入及びグループマネージャーの配置を実施し、組織として業務を行うことを徹底することで、組織内の情報共有や、進捗管理を徹底した。
- ・新規入職する職員の職場定着と組織の成長を図るため、新規採用職員に対して財団の先輩職員をメンターとして配置して個別支援を行うメンター制度を令和6年度から開始するため、制度設計を行った。
- ・労働安全衛生法に基づく職員の定期健康診断やストレスチェックを継続して実施した。
- ・家族とのふれあいを目的とした定時退館日を各課ごと設定し、時間外勤務の抑制につなげた。

イ 高い資質を有する人材の育成

- ・財団の目指す職員像を明確にした人事評価制度について、令和4年度の試行を経て本格運用を開始し、職員の意欲及び資質の向上を図った。
- ・各職員の職歴の志望を明確にし、財団の将来を担う人材を育成するため、キャリアパス制度を導入し、運用を開始した。
- ・グランシップ休館日には、年間計画に基づく職員研修を実施した。「公益財団法人の経営学」や「ICTによる業務のDX化」をテーマとした外部有識者による研修のほか、財団の財務状況の概要や会計知識（インボイス制度）等について財団職員が内部講師として企画した各種研修を実施し、財団職員のスキルアップを図った。
- ・新任管理職やベテランの中堅職員、新卒等職員を対象として外部の個別研修を活用し、組織内で各ポジションに求められる役割の理解を促進した。
- ・その他、職員が最新の専門知識、技術を習得する機会を確保するため、全国公立文化施設会主催のアートマネジメント研修や、静岡県公立文化施設協議会の各種研修を活用した。

ウ 採用と連動したインターンシップ

- ・財団に興味のある学生が財団全体の業務や職種を体験し、理解することができるインターンシップを引き続き実施するとともに、採用に連動する制度づくりについて検討を行った。

(3) 自分らしい働き方を実現できる環境づくり、勤務制度の導入

ア 新たな働き方

- ・17時15分以降の時間帯について、最低限の人数で効率的に施設運営ができるよう改善し、不必要な時間外勤務の抑制や勤務間インターバルの確保に努めた。
- ・令和4年度の検討を踏まえ、在宅勤務制度の規程を整備し、運用を開始した。

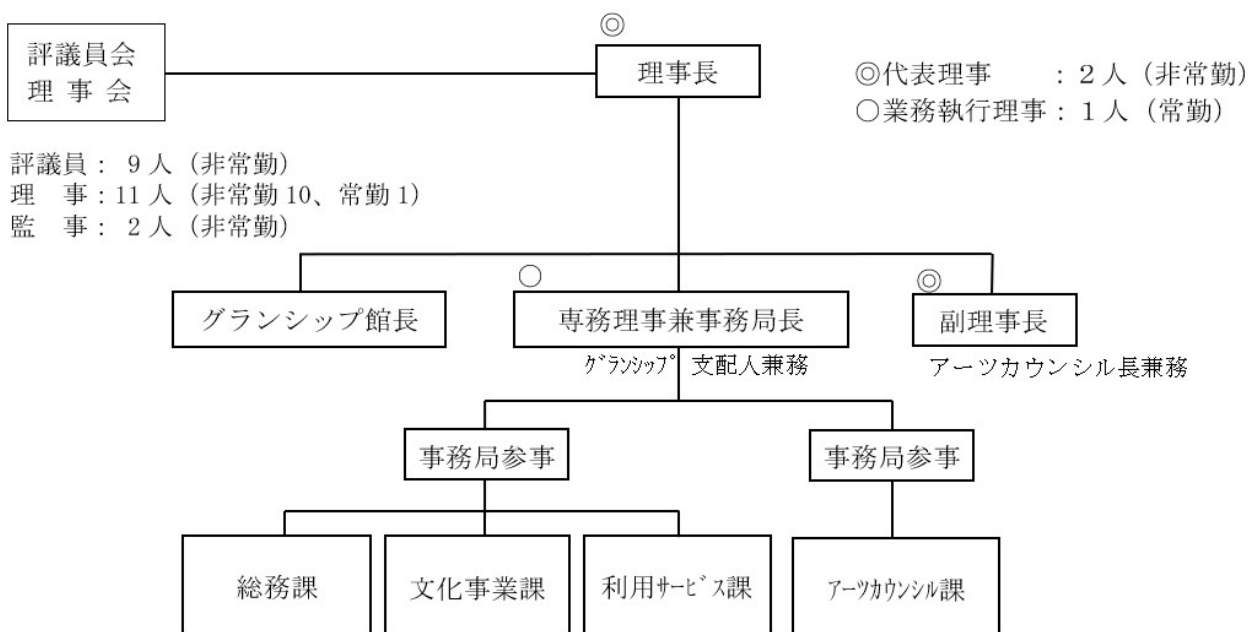
イ 育児・介護休業制度の運用

- ・育児・介護休業制度の活用職員数は下記のとおりである。

	育児休業	短時間勤務	遅出早出勤務
対象職員数	なし	4人	1人

(4) 組織体制

(令和6年3月31日現在)



【職員内訳 (人)】

	総務課	文化事業課	利用サービス課	アーツカウンシル課	計
正規職員	4	7	5	1	17
県派遣職員	2	0	2	2	6
契約職員	3	5	3	7	18
非常勤契約職員	0	0	0	0	0
委託職員	0	2	0	0	2
人材派遣職員	2	2	0	0	4
計	11	16	10	10	47

※休職中の職員を含む

(4) その他の法人運営

【理事会・評議員会等の開催状況】

月 日	会 議	議 案	採否状況
5/15(月)	監事監査	・令和4年度事業報告 ・令和4年度決算及び財産目録	—
5/26(金)	第1回 理 事 会	・令和4年度事業報告 ・令和4年度決算及び財産目録 ・定時評議員会の開催	出席者の全会一致による 可決
6/13(火)	定 時 評議員会	・令和4年度決算及び財産目録	出席者の全会一致による 可決
		・辞任に伴う評議員の選任 ・任期満了に伴う理事の選任	候補者一人毎採決、全員 可決
6/21(金)	臨 時 理 事 会	・理事長、副理事長及び専務理事の 選定	候補者一人毎採決、全員 可決
		・公益財団法人静岡文化財団理事長 担任事項規程の廃止 ・令和5年度補正予算 ・静岡県文化財団中期構想の改訂 ・定時評議員会の開催	出席者の全会一致による 可決
7/7(金)	(書面) 評議員会	・評議員の選任 ・令和5年度収支予算の補正	評議員全員の書面による 同意
12/18(月)	第2回 理 事 会	・令和5年度収支予算の補正 ・諸規程の制定及び一部改正 ・第2回評議員会の開催	出席者の全会一致による 可決
R6/ 1/16(火)	第2回 評議員会	・令和5年度収支予算の補正	出席者の全会一致による 可決
3/6(水)	第3回 理 事 会	・令和5年度収支予算の補正 ・令和6年度事業計画 ・令和6年度予算 ・令和6年度資金運用計画 ・役員等のために締結される保険 契約 ・諸規程の一部改正 ・第3回評議員会の開催	出席者の全会一致による 可決
3/22(金)	第3回 評議員会	・令和5年度収支予算の補正 ・令和6年度事業計画 ・令和6年度予算	出席者の全会一致による 可決

【許認可及び登記の状況】

登記日	内 容
令和5年10月16日	評議員、理事の辞任・就任登記

※許認可はなし

【基本財産の造成状況】

令和6年3月31日現在

	基本財産造成額	備 考
県 出 捐 金	600,000 千円 300,000 千円	S59 年度～61 年度 H4. 4. 1 文化振興基金取崩額 251,100 千円 県上乗せ分 48,900 千円
小 計	900,000 千円	
市 町 村 出 捐 金	100,000 千円	S59 年度～S61 年度
寄 附 金 等	1,710 千円	個人寄附 その他
基本財産造成額合計	1,001,710 千円	
基本財産時価評価額	1,012,795 千円	R5 年度末 新会計基準による

【別紙】令和5年度 グランシップ企画事業一覧

1 子ども・子育て世代への支援 (24 事業、51,334 人)

(1) 上質で多彩な鑑賞

東アジア文化都市 2023 認証プログラム：☆
 中高生鑑賞プラン：○
 こども・学生 1000 円、
 こども・学生チケット：◎

	事業名	月日	会場	入場・参加者 (人)	内容
1	グランシップ 世界のこども劇場 2023	8/4(金) ～8/6(日)	中ホール他 ☆・○・◎	1,187	世界で活躍する劇団による、舞台芸術等の子ども向けの公演 出演:ラ・ヤベ・マストラ(チ・スペイン)、to R mansion(日本・スウェーデン) 演目:ハレイドリア、風のみた夢、へんてこうじょう
2	【出前公演】 世界のこども劇場 2023	8/2(水)	菊川文化会館 ○・◎	162	グランシップで開催した世界のこども劇場の出前公演 出演:ラ・ヤベ・マストラ(チ・スペイン) 演目:ハレイドリア
3	にっぽんこども劇場 ～文楽わんだーらんど～	7/9(日)	中ホール ☆・○・◎	186	ユネスコ無形文化遺産「人形浄瑠璃 文楽」の魅力や面白さを子どもに分かりやすく伝える、実演・体験を交えた公演 出演:人形浄瑠璃文楽座 実演:伊達娘恋緋鹿子～火の見櫓の段
4	【共催】 夏の“絵日記”コンサート オーケストラ・キャラバン 静岡公演	8/20(日)	中ホール ◎	480	オーケストラの演奏を子どもたちが家族で気軽に楽しめるコンサート 管弦楽:神奈川フィルハーモニー管弦楽団、指揮:松川智哉、ピアノ:務川慧悟 他 曲目:久石譲 オケストラストロース となりのトトロ 他
計	4 事業			2,015	

(2) 関心・理解・親しみを深める教育普及

	事業名	月日	会場	入場・参加者 (人)	内容
5	国立劇場 歌舞伎鑑賞教室 (2 公演)	6/26(月)	中ホール ☆・○・◎	1,504	国立劇場による、解説付き歌舞伎鑑賞教室の出張公演 出演:中村扇雀、中村虎之介 他 演目:解説 歌舞伎のみかた 日本振袖始一八岐大蛇と素戔鳴尊一
6	中高生のためのオーケストラ (2 公演)	11/17(金)	中ホール ○	1,042	県内の中高生が上質なオーケストラの音楽を体験するクラシックコンサート 管弦楽:東京都交響楽団 指揮:小泉和裕 曲目:ベートーヴェン交響曲第5番短調「運命」他
7	伝統芸能普及プログラム <大学連携> 伝統芸能講演会	11/22(水)	静岡県立大学 ☆	190	東アジア文化都市に関連して行った、日本の伝統芸能である能楽に関する講演・解説及び実演 講師:室生和英氏(シテ方室生流第二十代宗家) タイトル:「シルクロードが生み出した芸能<能楽>」
8	グランシップ 子どもアート体験! 登録アーティスト アウトリーチ	6月～2月	吉田特支駿遠分 教室、六合東小 (島田市) 他	743	グランシップ 登録アーティストによる学校でのミニコンサート その他の実施校/吉田特支(榛原郡)、南伊豆東小(南伊豆町)、北浜東小(浜松市)、千本小(沼津市)、清水特支(静岡市)、気田小(浜松市)
9	グランシップ 子どもアート体験! 人形浄瑠璃文楽出前講座 (2 校)	7/10(月) 7/11(火)	函南中(函南町) 舞阪中(浜松市)	421	文楽協会の協力による実演を交えた文楽講座 講師:人形浄瑠璃文楽座 実演:伊達娘恋緋鹿子～火の見櫓の段
10	グランシップ 子どもアート体験! 宝井馬琴監修講談教室	10/17(火) 11/20(月)	南中小(南伊豆 町)、安西小(静 岡市)	109	本県出身の六代目宝井馬琴監修による講談教室 講師:宝井琴星、宝井琴鶴
11	グランシップ 子どもアート体験! 玉川奈々福の浪曲教室	12/20(水) 12/21(木)	清水船越小(静 岡市)、焼津南 小・焼津東小 (焼津市)	216	小学生向けの浪曲教室 講師:玉川奈々福、沢村まみ 実演:「浪曲シンデレラ」
12	グランシップ 子どもアート体験! 狂言ワークショップ	10/23(月)	仁科小・田子 小・賀茂小 (西伊豆町)	52	伝統芸能普及プログラムの一環として実施する小学生向けの狂言教室 講師:三宅右矩、三宅近成、金田弘明 実演:「棒縛」
13	伝統芸能普及プログラム <大学連携> 文楽レクチャー	7/9(日)	中ホール	39	大学生、一般参加者を対象とした、実演を交えた文楽のワークショップ (※一般参加者有料) 講師:人形浄瑠璃文楽座 実演:伊達娘恋緋鹿子～火の見櫓の段
14	伝統芸能普及プログラム <大学連携> 浪曲レクチャー	12/20(水)	映像ホール	12	大学生を対象とした、実演を交えた浪曲のワークショップ 講師:玉川奈々福(浪曲師)、沢村まみ(曲師) 実演:物くさ太郎

	事業名	月日	会場	入場・参加者 (人)	内容
15	伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞ 講談レクチャー	11/20(月)	映像ホール	17	大学生を対象とした、実演を交えた講談のワークショップ 講師:宝井琴鶴 実演:那須与一 扇の的
16	伝統芸能普及プログラム ＜大学連携＞ 歌舞伎レクチャー	5/24(水)	映像ホール	23	大学生を対象とした、歌舞伎の基礎知識や制作の裏側などを、映像資料を交えて紹介する歌舞伎のワークショップ 講師:国立劇場制作部歌舞伎課 職員
17	伝統芸能普及プログラム ＜教育普及＞ 歌舞伎レクチャー	5/17(水) 5/24(水) 6/14(水)	大渕中(富士市) 蘆科中(静岡市) 他	224	「国立劇場歌舞伎鑑賞教室」を鑑賞する学校対象の事前レクチャー。歌舞伎の基礎知識や公演の見どころを国立劇場職員が分かりやすく解説 その他の実施校/浜松湖北高佐久間分校(浜松市)
18	【出前公演】 アウトリーチ スヴェング ミニコンサート	1/26(金)	豊田東小 (磐田市)	384	「驚異のハーモニカ・カルテット スヴェング」に出演するハーモニカ集団スヴェングによるミニコンサート 出演:ハーモニカ・カルテット スヴェング 曲目:映画「ハウルの動く城」より「人生のメロゴランド」他
19	詩人と語ろう！ 言葉を語ろう！	10/29(日)	三島市民文化 会館	10	「しずおか連詩の会」に連動した、県内高校の文芸部で活動する高校生と詩人が交流しながら連詩を創作するワークショップ 講師:野村喜和夫 参加:静岡県立三島北高校文芸部
20	グランシップ 子どもアート体験！ 貼り絵ワークショップ	6/29(木)	浜松特別支援 学校(浜松市)	34	特別支援学校で学ぶ生徒一人ひとりの表現・魅力を引き出す貼り絵のワークショップ 講師:福井揚
計	16 事業			5,020	

(3) 誰もが主人公となる県民参加

	事業名	月日	会場	入場・参加者 (人)	内容
21	グランシップ トレインフェスタ 2023	5/20(土) 5/21(日)	全館 ☆	22,026	鉄道模型コーナーや駅弁販売等、鉄道ファンから親子連れまで、家族で楽しめる日本最大級の鉄道イベント
22	冬のおくりもの2023 キノ・イグルーの 不思議の国のえいがかん	12/17(日)	大ホール ☆	518	小さな子どもたちが家族と一緒に世界各国の映画を楽しむ映画会 出演:キノ・イグルー、近藤康平(ライブ・インテイク) 他 上映:弟の夢、Christmas(外山光男) 他
23	冬のおくりもの2023 こどもたちのための静岡フィル クリスマスコンサート	12/17(日)	大ホール ☆	1,824	県内で活動する静岡フィルハーモニー管弦楽団による0歳児から楽しめるオーケストラのコンサート 管弦楽:静岡フィルハーモニー管弦楽団 指揮:松村詩史 ヴァラノ:Emi 他 曲目:魔法使いの弟子 他
24	東アジア文化都市 東アジア文化交流フェア EASTASIA meets SHIZUOKA	5/3(水・祝) 5/4(木・祝)	大ホール ☆	19,931	東アジア文化都市の「オープニング」に関連して開催した、日中韓のダンスや音楽のステージ、食や伝統的な遊びに関するワークショップなど、気軽に文化交流を楽しめるイベント
計	4 事業			44,299	

2 音楽文化等の普及・振興（15事業・9,697人）

(1) 上質で多彩な鑑賞

	事業名	月日	会場	入場・参加者 (人)	内容
1	東京グランド・ソロイスト	7/22(土)	中ホール ☆・○・◎	681	男性17人によるオール・アソフ・プログラムのコンサート 出演：三浦一馬(バンド・ネソ) 石田泰尚(ソロ・ヴァイオリン) 黒木岩寿(コントラバス) 大坪純平(ギター) 石川智(ドラムス) 他 曲目：アストル・ビョーク リベラタスコ 他
2	狭間美帆 m_unit	9/23(土・祝)	中ホール ☆・○・◎	248	ニューヨークを拠点に活動するジャズ作曲家・挟間美帆が自身のバンド m_unit と贈るコンサート 出演：狭間美帆(指揮)、土井徳浩(アルト・サクソ) 他 曲目：狭間美帆 Abeam, Portrait of Guess 他
3	アレクサンダー・ガジェヴ ピアノ・リサイタル	10/23(月)	中ホール ☆・○・◎	534	2021年第18回ショパン国際ピアノ・コンクールで第2位となったアレクサンダー・ガジェヴのリサイタル ピアノ：アレクサンダー・ガジェヴ 曲目：ショパン スケルツォ第3番嬰ハ短調 Op. 39、ムジケルスキー 組曲「展覧会の絵」 他
4	小泉和裕指揮 東京都交響楽団 名曲コンサート	11/18(土)	中ホール ☆・○・◎	629	日本を代表するオケストラによるクラシックコンサート 管弦楽：東京都交響楽団 指揮：小泉和裕 ヴァイオリン：三浦文彰 曲目：ブルッフ ヴァイオリン協奏曲第1番ハ短調 作品26 他
5	小林愛実 ピアノ・リサイタル	11/29(水)	中ホール ☆・○・◎	798	2021年第18回ショパン国際ピアノ・コンクールで第4位入賞した小林愛実のリサイタル ピアノ：小林愛実 曲目：シュベール 即興曲集 D935 Op. 142、ショパン ポロネーズ 第7番変イ長調「幻想」Op. 61 他
6	平原綾香 20th Anniversary Concert Tour 2023	12/15(金)	中ホール ☆・◎	874	クラシック・プレミアム・クリスマス・ライブとして贈る、芸能活動20周年を迎える歌手 平原綾香のコンサート 曲目：おひさま～大切なあなたへ、大きな木の下、JOYFUL JOYFUL、今、風の中で 他
7	静岡ガス PRESENTS グランシップ&静岡 ニューイヤーコンサート (2公演)	1/12(金)	中ホール	1,668	新年に相応しい内容で贈るクラシックコンサート 管弦楽：富士山静岡交響楽団 指揮：高関健 ピアノ：高木竜馬 曲目：グリーグ ピアノ協奏曲ハ短調 Op. 16、J. ショトラウス II 喜歌劇「こもり」序曲 他
8	H ZETT M×神奈川フィル ハーモニー管弦楽団 「新しいチカラ」	1/21(日)	大ホール ○・◎	1,026	H ZETT M等で活躍するピアニスト・H ZETT Mと神奈川フィルによる、クラシック オリジナルのコンサート 管弦楽：神奈川フィルハーモニー管弦楽団 指揮：高井優希 ピアノ：H ZETT M 曲目：新しいチカラ 他
9	【出前公演】 フィンランド発 驚異の ハーモニカ・カルテット スヴェング	1/27(土)	アミューズ豊 田ゆやホール (磐田市) ○・◎	293	フィンランド発人気ハーモニカ集団・スヴェングによるコンサート 出演：ハーモニカ・カルテット「スヴェング」 ヨーコ・クハバ、エロ・ゲルト・ストルム、エロ・トリカ、パシ・レイノ 曲目：赤とんぼ、フィンランディア、祖母に捧げるタンゴ、ベドウィンのテーマ 他
10	大江千里 ひな祭りジャズ・ライブ	3/3(日)	中ホール ○・◎	846	日本の音楽シーンからニューヨークへ活動の場を移し、活躍を続けるジャズピアニスト・大江千里によるジャズ・ライブ 出演：大江千里 曲目：うれしいひなまつり、十人十色、エールをおくろう、Rain, My Glory Days 他
11	坂東祐大&文月悠光 音楽と詩と声の現場 2024	3/20(水・祝)	中ホール ○・◎	204	作曲家・坂東祐大による現代音楽と詩人・文月悠光の詩を「声」を用いて披露する、これまでにないコンサート 出演：多久潤一郎(フルト)、秋田勇魚(ギター)、石上真由子(ヴァイオリン)、矢部華恵(朗読) 曲目：「声の現場」、「花と蜜」より 他
計	11事業			7,801	

(2) 関心・理解・親しみを深める教育普及

	事業名	月日	会場	入場・参加者 (人)	内容
12	東京都交響楽団 名曲コンサート 事前レクチャー	10/29(日)	映像ホール ◎	34	「東京都交響楽団 名曲コンサート」をより深く理解し、楽しむための事前レクチャー 講師：平野昭(静岡文化芸術大学名誉教授) 内容：ベートーヴェンの交響曲《運命》に迫る！～苦悩から歓喜へ
計	1事業			34	

(3) 誰もが主人公となる県民参加

	事業名	月日	会場	入場・参加者 (人)	内容
13	グランシップ ビッグバンド・ジャズ・ フェスティバル 2023	8/13(日)	大ホール ☆	1,004	静岡県内で活動するアマチュアバンド 8 団体による ジャズフェスティバル 出演団体:沼津燦々ジャズオーケ ストラ、サ・スイング・ハート・オーケストラ、スーパー・プラス・オーケストラ、 他 曲目:Celebracion,Caravan 他
14	【共催】 静岡県学生音楽コンクール	予選 6/17(土)、18(日) 本番 8/19(土)	中ホール他	410	静岡県内のクラシック音楽を志す児童生徒を 対象とした音楽コンクール 弦楽、管楽、声楽、ピアノ 4 部門で実施
15	【提携公演】 音楽青葉会・静岡児童合唱団 創立 80 周年記念演奏会 Part I	4/2(日)	中ホール	448	静岡県内で活動する芸術団体に対する発表の 場の提供 合唱:静岡児童合唱団、青葉会スベリオル 語り:阿 部一徳 バリトン:酒井雄一 ピアノ:須関裕子 他
計	3 事業			1,862	

3 伝統芸能の継承 (6 事業・3,222 人)

(1) 上質で多彩な鑑賞

	事業名	月日	会場	入場・参加者 (人)	内容
1	グランシップ寄席 ～ニホンノコワイハナシ～	7/23(日)	中ホール ☆・○・◎	478	季節感のある怪談噺の落語・講談・浪曲の公演 出演:立川談笑(落語「夜、る」)、玉川奈々福(浪 曲「亡霊剣法」)、神田阿久鯉(講談「村井長庵雨 夜の裏田圃」)、林家つる子(落語「お菊の皿」)
2	人形浄瑠璃 文楽 (2 公演)	10/8(日)	中ホール ☆・○・◎	874	「グランシップ 伝統芸能シリーズ」の 1 つとして実施 する、文楽協会による文楽公演 出演:竹本鋳 太夫、桐竹勘十郎 他 演目:義経千本桜～椎の 木の段、桂川連理柵～六角堂の段 他
3	グランシップ静岡能	1/27(土)	中ホール ○・◎	539	「グランシップ 伝統芸能シリーズ」の 1 つとして実施 する本格的な能楽公演 出演:室生和英、大友 順、山本泰太郎 他 演目:能「石橋 赤黒」・ 「鶴亀」、狂言:「佐渡狐」
4	グランシップ寄席 ～柳家喬太郎独演会～ (2 公演)	3/17(日)	交流ホール ○・◎	589	古典から新作まで絶大な人気を誇る落語家・柳 家喬太郎の独演会 出演・演目:柳家喬太郎(同 棲したい、夢の酒、禁酒番屋 他)、柳家喬志郎(ハ ッピー・エクスプレス 他)、柳家小太郎(粗忽の釘 他)
計	4 事業			2,480	

(2) 関心・理解・親しみを深める教育普及

	事業名	月日	会場	入場・参加者 (人)	内容
5	グランシップ静岡能 能楽入門公演	9/10(日)	中ホール ☆・○	572	「グランシップ 伝統芸能シリーズ」の 1 つとして分 かりやすい解説と能楽教室お稽古生の成果発 表を取り入れた入門公演 出演:山階彌右衛 門 他 演目:能「野守」、仕舞「邯鄲」 他
6	グランシップ伝統芸能シ リーズ講演会 岩下尚史の伝統芸能へよ うこそ!	8/26(土)	交流ホール ☆	170	作家・岩下尚史さんと人間国宝・桐竹勘十郎さ ん(文楽人形遣い)による、文楽公演に向け た、文楽にはじめて触れる方を対象に魅力や 楽しみ方を紹介する講演会
計	2 事業			742	

(3) 誰もが主人公となる県民参加

該当なし

4 文芸・美術等の振興（6事業・13,513人）

(1) 上質で多彩な鑑賞

	事業名	月日	会場	入場・参加者 (人)	内容
1	平間至 写真展	7/25(火) ～8/20(日)	展示ギャラリー ☆	2,012	TOWER RECORDS のコーポレート・ボイスである、「NO MUSIC, NO LIFE.」のポスター撮影を手掛けている写真家・平間至の写真展 期間中にギャラリートーク、トークライブを各1回開催
2	本と音楽の素敵な出会い ～『ラブカは静かに弓を持つ』	10/15(日)	中ホール ☆・○・◎	281	2023年本屋大賞第2位の安壇美緒の作品をテーマにトークとピアノ演奏を交えた文学と音楽の公演 出演：安壇美緒、横坂源(チェロ)、沼沢淑音(ピアノ)、浦久俊彦(ピエゲーター) 曲目：カッチーニ アヴェ・マリア 他
3	【出前】 しずおか連詩の会 in 三島	11/12(日)	三島市民文化 会館 ☆・○	127	本県出身の詩人・大岡信氏が提唱した、複数人で短い詩をリレーのように連ねる「連詩」の創作と発表 参加：野村喜和夫、田原、岡野大嗣、文月悠光、小野絵里華 タイトル：「約束を潜めた歴史」の巻
	3事業			2,420	

(2) 関心・理解・親しみを深める教育普及

該当なし

(3) 誰もが主人公となる県民参加

	事業名	月日	会場	入場・参加者 (人)	内容
4	グランシップ 誰もが Wonderful アート	8/26(土) ～9/10(日)	展示ギャラリー ☆	2,039	表現や個性を認め合うことを目的とした、県内在住の現代美術家・演奏家白砂勝敏氏と静岡県内特別支援学校8校の生徒・児童の作品展。期間中に鑑賞ツアー、音楽会を各1回開催
5	高松宮妃のおひなさま展	2/17(土) ～3/3(日)	展示ギャラリー	8,554	徳川慶喜の孫にあられる高松宮妃喜久子さまがご成婚時にお持ちになったひな人形の展示。開館25周年を記念し、『だれもが笑顔になる「にこにこ人形展」』を同時開催
6	【共催事業】 ふじのくに芸術祭春の祭典 「授賞式」「総合開会式」	2/18(日)	中ホール	500	ふじのくに芸術祭のメインイベントである春の祭典授賞式・開会式
計	3事業			11,093	

※ 東アジア文化都市 2023 静岡県コア事業（2事業・1,639人）

	事業名	月日	会場	入場・参加者 (人)	内容
1	日中韓映画祭事業 グランシップ 日中韓映画上映会	9/29(金) 11/3(金・祝) 11/4(土)	大ホール	1,196	日中韓の相互文化理解促進を目的とした映画祭。JR 草薙駅北口広場でのプレイベント開催で地域との協働も実現。タイトル：「ビューティ・インサイト」「82年生まれ、キム・ジヨン」(韓国)「妻への家路」(中国)「ペイパー・プロカー」「そして父になる」(日本)
2	音楽交流事業 ウィーンの風 ウィーン木管五重奏団	10/6(金)	中ホール ○・◎	443	ウィーンで活躍する奏者5人のアンサンブルと静岡県立清水南高校同中等部管弦楽部・芸術科音楽専攻生徒との共演による公演。出演：ウィーン木管五重奏団、岡部武彦 他 曲目：J. ショトラウスII 喜歌劇「こもり」序曲、J. ブラームス ハンガリー舞曲第5番 他
計	2事業			1,639	